ARIBA tsushin

ありば通心

医療的ケアが必要な子どもたちと家族に、安心と笑顔の居場所を

一般社団法人ブレス 重心児デイサービスエンゼル

小児科医の代表理事・藤山りかさんと理事・長嶋康代さんが「医療的ケアが必要な子どもが安心して過ごせる場所を」との思いで立ち上げたのが「一般社団法人ブレス重心児デイサービスエンゼル」です。児童発達支援と放課後等デイサービスで、0歳から18歳までの重症心身障害のある子どもたちを温かく迎え入れています。一日定員5名体制で専門職のスタッフ7名がチームを組み、一人ひとりの個性と状態に寄り添った支援を行っています。

施設では安全なケアのために、家族から普段の様子を細かく聞き取ることを徹底しています。毎日の送迎や預かり時の情報を、朝の会でスタッフ全員で共有し、小さな体調の変化や違和感を一人で抱え込まず、常に話し合うことで異常の早期発見と安全確保に努めています。

中心スタッフである看護師の増山真奈美さんが大切にしていることは、病名や疾患ではなくその子自身をしっかり理解することです。人工呼吸器などに対応しながらも、病院のような治療ではなく「楽しく安心して過ごす日常の場」であることを意識し、公園へ出かけるなど子どもたちが日常的に経験するさまざまなことを、できるだけ体験しながらのびのびと過ごせる雰囲気づくりにも努めています。

理学療法士などと協力して、座る練習や歩行の練習をしたりと、「自分でできた」という経験を重ねる工夫も忘れてはいません。その結果として「できることを増やし、家族が抱える介護の負担を和らげ、前向きに生きるためのゆとりと安心感につながれば」と話します。

この仕事のやりがいは、「子どもたちの小さな成長や変化を家族と分かち合える瞬間にあります。寝たきりでおむつが外れないと思っていたお子さんがトイレトレーニングを重ねて自分で排泄ができるようになったり、表情豊かになる姿を見ると本当に嬉しくなります」とのこと。

「障害や病気があるからと最初から諦めず、不安は半分に、嬉しい経験は倍にしていきたい」と増山さんは話します。

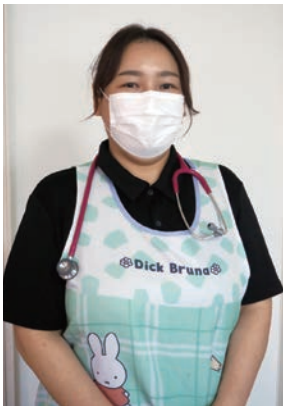
子どもたちがその子らしく豊かな時間を過ごし、誰もが安心して笑顔で暮らせるよう、エンゼルはこれからも温かい場所であり続けます。



子どもたちが安心して通える、バリアフリーに配慮された明るく綺麗な施設



緑豊かな公園や自然の中で外の空気を感じながら、みんなで笑顔あふれる屋外活動



子どもたちの個性に寄り添い、笑顔で温かなケアを届ける増山真奈美さん



小さな体調の変化も見逃さないよう、聴診器を使って日々の健康管理に努めている



理学療法士などのスタッフと話し合いながら、子どもたちのできることが増えるようサポート

一般社団法人ブレス
重心児デイサービスエンゼル
〒892-0871　鹿児島市吉野町2713-2
TEL：099-244-5150
重心児デイサービスエンゼル 検索